

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山口県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立総合医療センター	2
-	県立こころの医療センター	3
下関市	中央病院	4
下関市	豊浦病院	5
下関市	豊田中央病院	6
萩市	市民病院	7
岩国市	岩国市立錦中央病院	8
岩国市	岩国市立美和病院	9
光市	光市立光総合病院	10
光市	光市立大和総合病院	11
美祢市	市立病院	12
美祢市	美東病院	13
周南市	市民病院	14
山陽小野田市	山陽小野田市民病院	15
周防大島町	周防大島町立東和病院	16
周防大島町	周防大島町立大島病院	17

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名					
病院名 県立総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,342,059	
決算規模(千円)	719,028,382	
標準財政規模(千円)	373,160,540	
財政力指数	0.45738	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	200.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,113			
1 経常収益	8,113			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,113			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,113			
2 経常費用	8,113			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,113			
(うち支払利息)	8,113	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名			
病院名	県立こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,342,059	
決算規模(千円)	719,028,382	
標準財政規模(千円)	373,160,540	
財政力指数	0.45738	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	200.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	17,145			
1 経常収益	17,145			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,145			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,145			
2 経常費用	17,145			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	-	-	9.5	13.5
経費	-	-	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	17,145			
(うち支払利息)	17,145	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.4
医業収支比率	-		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	66.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名	下関市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	255,051	
決算規模(千円)	147,487,605	
標準財政規模(千円)	66,589,828	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	75.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,499			
1 経常収益	2,499			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,499			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,499			
2 経常費用	2,499			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,499			
(うち支払利息)	2,499	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名	下関市		
病院名	豊浦病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	255,051	
決算規模(千円)	147,487,605	
標準財政規模(千円)	66,589,828	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	75.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,049			
1 経常収益	2,218			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,218			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,218			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,831			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,329			
2 経常費用	3,329			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	3,329			
(うち支払利息)	3,329	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,111			
純損益	6,720			
累積欠損金	42,399			
経常収支比率	66.6		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	22.1		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,219	2,218
資本勘定繰入	12,185	10,444
計	14,404	12,662

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	下関市				
病院名	豊田中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,773 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	60.5	68.6	71.4
療養	11	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	71	51.1	57.9	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	18.7	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	255,051	
決算規模(千円)	147,487,605	
標準財政規模(千円)	66,589,828	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	75.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.2
修正医業収益(千円)	613,454

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,114,225			
1 経常収益	1,113,933			
(1) 医業収益	665,462			
入院収益	340,629			
外来収益	225,160			
診療収入計	565,789			
その他医業収益	99,673			
(うち他会計負担金)	52,008			
(2) 医業外収益	448,471			
(うち国・都道府県補助金)	213,963			
(うち他会計補助・負担金)	183,321			
(うち長期前受金戻入)	49,365			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	292			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,127,806			
2 経常費用	1,127,471			
(1) 医業費用	1,091,481			
職員給与費	670,885	100.8	62.1	78.9
材料費	83,745	12.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	52,533	7.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,932	4.5	11.4	6.0
減価償却費	97,028	14.6	9.5	11.7
経費	231,330	34.8	22.7	31.2
(うち委託料)	147,668	22.2	12.6	14.3
研究研修費	6,078			
資産減耗費	2,415			
(2) 医業外費用	35,990			
(うち支払利息)	6,067	0.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	335			
損益				
経常損益	-13,538			
純損益	-13,581			
累積欠損金	1,510,401			
経常収支比率	98.8		101.9	100.3
医業収支比率	61.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	35.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.9		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,692,206
1 固定資産	1,420,855
(1) 有形固定資産	1,420,734
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	271,351
(1) 現金及び預金	101,391
(2) 未収金及び未収収益	159,671
(3) 貸倒引当金()	586
(4) 貯蔵品	10,875
3 繰延資産	-
負債合計	1,387,037
1 固定負債	903,170
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	471,651
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	231,519
(7) リース債務	-
2 流動負債	247,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	38,795
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	115,568
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	236,359
(1) 長期前受金	833,571
(2) 長期前受金収益化累計額()	597,212
資本合計	305,169
1 資本金	1,849,419
2 剰余金	-1,544,250
(1) 資本金剰余金	8,550
(2) 利益剰余金	-1,552,800
負債・資本合計	1,692,206
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,296	235,329
資本勘定繰入	39,991	40,336
計	255,287	275,665

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				山口県
市町村・組合名	萩市			
病院名	市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	9,722 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救へ輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	76.2	81.0	75.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	76.2	81.0	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.5	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	44,626	
決算規模(千円)	34,285,409	
標準財政規模(千円)	17,482,883	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	1.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収益(千円)	1,849,799

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,573,390			
1 経常収益	2,523,365			
(1) 医業収益	1,962,343			
入院収益	1,253,496			
外来収益	476,373			
診療収入計	1,729,869			
その他医業収益	232,474			
(うち他会計負担金)	112,544			
(2) 医業外収益	561,022			
(うち国・都道府県補助金)	172,620			
(うち他会計補助・負担金)	358,294			
(うち長期前受金戻入)	3,950			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,025			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,642,572			
2 経常費用	2,592,547			
(1) 医業費用	2,454,285			
職員給与費	1,391,606	70.9	62.1	67.4
材料費	384,477	19.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	130,805	6.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	252,574	12.9	11.4	8.8
減価償却費	153,002	7.8	9.5	10.7
経費	517,123	26.4	22.7	29.2
(うち委託料)	356,274	18.2	12.6	13.9
研究研修費	3,047			
資産減耗費	5,030			
(2) 医業外費用	138,262			
(うち支払利息)	40,679	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	50,025			
損益				
経常損益	-69,182			
純損益	-69,182			
累積欠損金	968,468			
経常収支比率	97.3		101.9	100.3
医業収支比率	80.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	79.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,602,535
1 固定資産	2,611,307
(1) 有形固定資産	2,522,991
(2) 無形固定資産	734
(3) 投資その他の資産	87,582
2 流動資産	991,228
(1) 現金及び預金	499,429
(2) 未収金及び未収収益	477,234
(3) 貸倒引当金()	4,276
(4) 貯蔵品	18,841
3 繰延資産	-
負債合計	3,373,848
1 固定負債	2,706,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,149,205
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	557,268
(7) リース債務	-
2 流動負債	580,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	289,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	81,635
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	208,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	86,530
(1) 長期前受金	251,415
(2) 長期前受金収益化累計額()	164,885
資本合計	228,687
1 資本金	983,245
2 剰余金	-754,558
(1) 資本金剰余金	213,910
(2) 利益剰余金	-968,468
負債・資本合計	3,602,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	470,838	470,838
資本勘定繰入	167,040	105,497
計	637,878	576,335

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		岩国市			
病院名		岩国市立錦中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,974 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	53	78.6	65.3	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	53	78.6	65.3	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		32.5	29.8	32.5

設立団体の状況		
人口(人)	129,125	
決算規模(千円)	87,766,572	
標準財政規模(千円)	35,711,541	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	7.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収益(千円)	574,601

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	779,804			
1 経常収益	775,254			
(1) 医業収益	624,471			
入院収益	293,984			
外来収益	259,071			
診療収入計	553,055			
その他医業収益	71,416			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	150,783			
(うち国・都道府県補助金)	8,167			
(うち他会計補助・負担金)	132,457			
(うち長期前受金戻入)	8,290			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,550			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	851,274			
2 経常費用	846,724			
(1) 医業費用	804,509			
職員給与費	443,442	71.0	62.1	78.9
材料費	186,827	29.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	136,541	21.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,383	6.5	11.4	6.0
減価償却費	30,747	4.9	9.5	11.7
経費	142,616	22.8	22.7	31.2
(うち委託料)	68,766	11.0	12.6	14.3
研究研修費	277			
資産減耗費	600			
(2) 医業外費用	42,215			
(うち支払利息)	187	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,550			
損益				
経常損益	-71,470			
純損益	-71,470			
累積欠損金	344,994			
経常収支比率	91.6		101.9	100.3
医業収支比率	77.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	70.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,491,714
1 固定資産	798,819
(1) 有形固定資産	787,403
(2) 無形固定資産	11,416
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	692,895
(1) 現金及び預金	219,812
(2) 未収金及び未収収益	469,706
(3) 貸倒引当金()	3,679
(4) 貯蔵品	7,056
3 繰延資産	-
負債合計	453,895
1 固定負債	63,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	3,934
2 流動負債	220,389
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,363
(6) リース債務	1,689
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,148
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	169,848
(1) 長期前受金	428,773
(2) 長期前受金収益化累計額()	258,925
資本合計	1,037,819
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	-259,961
(1) 資本金剰余金	301,808
(2) 利益剰余金	-561,769
負債・資本合計	1,491,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	182,327	182,327
資本勘定繰入	4,027	4,027
計	186,354	186,354

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山口県	
市町村・組合名	岩国市		
病院名	岩国市立美和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,968 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	35.2	46.7	46.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	35.2	46.7	46.9
平均在院日数(一般病床のみ)		27.9	29.1	29.4

設立団体の状況		
人口(人)	129,125	
決算規模(千円)	87,766,572	
標準財政規模(千円)	35,711,541	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	7.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.7
修正医業収益(千円)	356,892

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	580,057			
1 経常収益	572,057			
(1) 医業収益	398,277			
入院収益	157,822			
外来収益	174,146			
診療収入計	331,968			
その他医業収益	66,309			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	173,780			
(うち国・都道府県補助金)	47,716			
(うち他会計補助・負担金)	113,933			
(うち長期前受金戻入)	9,302			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	725,077			
2 経常費用	717,077			
(1) 医業費用	664,211			
職員給与費	370,795	93.1	62.1	78.9
材料費	132,377	33.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	93,688	23.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,583	7.9	11.4	6.0
減価償却費	25,008	6.3	9.5	11.7
経費	135,286	34.0	22.7	31.2
(うち委託料)	64,674	16.2	12.6	14.3
研究研修費	511			
資産減耗費	234			
(2) 医業外費用	52,866			
(うち支払利息)	167	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	8,000			
損益				
経常損益	-145,020			
純損益	-145,020			
累積欠損金	237,861			
経常収支比率	79.8		101.9	100.3
医業収支比率	60.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	58.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,491,714
1 固定資産	798,819
(1) 有形固定資産	787,403
(2) 無形固定資産	11,416
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	692,895
(1) 現金及び預金	219,812
(2) 未収金及び未収収益	469,706
(3) 貸倒引当金()	3,679
(4) 貯蔵品	7,056
3 繰延資産	-
負債合計	453,895
1 固定負債	63,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,702
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	3,934
2 流動負債	220,389
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,363
(6) リース債務	1,689
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,148
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	169,848
(1) 長期前受金	428,773
(2) 長期前受金収益化累計額()	258,925
資本合計	1,037,819
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	-259,961
(1) 資本金剰余金	301,808
(2) 利益剰余金	-561,769
負債・資本合計	1,491,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,318	155,318
資本勘定繰入	9,330	9,330
計	164,648	164,648

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	光市				
病院名	光市立光総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,910 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	210	61.0	62.4	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	61.0	62.4	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.3	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	49,798	
決算規模(千円)	26,368,176	
標準財政規模(千円)	12,946,215	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	35.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.8
修正医業収益(千円)	3,219,047

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,835,531			
1 経常収益	3,835,531			
(1) 医業収益	3,377,538			
入院収益	2,072,951			
外来収益	1,076,311			
診療収入計	3,149,262			
その他医業収益	228,276			
(うち他会計負担金)	158,491			
(2) 医業外収益	457,993			
(うち国・都道府県補助金)	166,055			
(うち他会計補助・負担金)	122,015			
(うち長期前受金戻入)	142,924			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,172,612			
2 経常費用	4,159,832			
(1) 医業費用	3,985,755			
職員給与費	2,138,480	63.3	62.1	66.1
材料費	640,837	19.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	333,632	9.9	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	307,205	9.1	11.4	9.3
減価償却費	483,078	14.3	9.5	10.2
経費	716,574	21.2	22.7	28.2
(うち委託料)	457,845	13.6	12.6	13.6
研究研修費	5,471			
資産減耗費	1,315			
(2) 医業外費用	174,077			
(うち支払利息)	37,590	1.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	12,780			
損益				
経常損益	-324,301			
純損益	-337,081			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.2		101.9	99.9
医業収支比率	84.7		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	85.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,334,574
1 固定資産	12,924,333
(1) 有形固定資産	12,326,831
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	595,565
2 流動資産	4,410,241
(1) 現金及び預金	3,395,775
(2) 未収金及び未収収益	997,034
(3) 貸倒引当金()	15,570
(4) 貯蔵品	33,002
3 繰延資産	-
負債合計	11,220,318
1 固定負債	9,385,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,584,552
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800,741
(7) リース債務	-
2 流動負債	867,522
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	325,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	225,242
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	283,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	967,503
(1) 長期前受金	4,503,974
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,536,471
資本合計	6,114,256
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	-235,570
(1) 資本金剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-1,764,851
負債・資本合計	17,334,574
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,656	280,506
資本勘定繰入	68,200	73,700
計	347,856	354,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	光市				
病院名	光市立大和総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,464 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	75.8	80.2	76.8
療養	203	99.6	99.7	99.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	243	95.6	96.5	95.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	18.6	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	49,798	
決算規模(千円)	26,368,176	
標準財政規模(千円)	12,946,215	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	35.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.9
修正医業収益(千円)	2,202,501

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,485,538			
1 経常収益	2,485,466			
(1) 医業収益	2,258,950			
入院収益	1,917,208			
外来収益	142,664			
診療収入計	2,059,872			
その他医業収益	199,078			
(うち他会計負担金)	56,449			
(2) 医業外収益	226,516			
(うち国・都道府県補助金)	26,473			
(うち他会計補助・負担金)	88,820			
(うち長期前受金戻入)	96,682			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	72			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,405,204			
2 経常費用	2,405,033			
(1) 医業費用	2,321,413			
職員給与費	1,563,657	69.2	62.1	66.1
材料費	180,559	8.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	86,044	3.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,515	4.2	11.4	9.3
減価償却費	179,251	7.9	9.5	10.2
経費	391,751	17.3	22.7	28.2
(うち委託料)	239,571	10.6	12.6	13.6
研究研修費	2,111			
資産減耗費	4,084			
(2) 医業外費用	83,620			
(うち支払利息)	20,902	0.9	1.3	1.6
(3) 特別損失	171			
損益				
経常損益	80,433			
純損益	80,334			
累積欠損金	2,047,966			
経常収支比率	103.3		101.9	99.9
医業収支比率	97.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	97.3		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,334,574
1 固定資産	12,924,333
(1) 有形固定資産	12,326,831
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	595,565
2 流動資産	4,410,241
(1) 現金及び預金	3,395,775
(2) 未収金及び未収収益	997,034
(3) 貸倒引当金()	15,570
(4) 貯蔵品	33,002
3 繰延資産	-
負債合計	11,220,318
1 固定負債	9,385,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,584,552
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,800,741
(7) リース債務	-
2 流動負債	867,522
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	325,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	225,242
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	283,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	967,503
(1) 長期前受金	4,503,974
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,536,471
資本合計	6,114,256
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	-235,570
(1) 資本金剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-1,764,851
負債・資本合計	17,334,574
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,253	145,269
資本勘定繰入	129,884	132,884
計	271,137	278,153

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	美祢市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,950 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	89	70.1	71.8	67.4
療養	49	88.4	87.3	91.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	138	76.6	77.3	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		28.6	27.6	25.5

設立団体の状況		
人口(人)	23,247	
決算規模(千円)	19,447,055	
標準財政規模(千円)	9,829,627	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	28.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.6
修正医業収益(千円)	1,530,614

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,470,144			
1 経常収益	2,423,444			
(1) 医業収益	1,637,146			
入院収益	1,030,173			
外来収益	417,607			
診療収入計	1,447,780			
その他医業収益	189,366			
(うち他会計負担金)	106,532			
(2) 医業外収益	786,298			
(うち国・都道府県補助金)	111,025			
(うち他会計補助・負担金)	201,344			
(うち長期前受金戻入)	70,360			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	46,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,534,246			
2 経常費用	2,487,546			
(1) 医業費用	1,947,747			
職員給与費	1,085,114	66.3	62.1	67.4
材料費	267,739	16.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	167,509	10.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	100,230	6.1	11.4	8.8
減価償却費	112,790	6.9	9.5	10.7
経費	478,355	29.2	22.7	29.2
(うち委託料)	244,210	14.9	12.6	13.9
研究研修費	1,666			
資産減耗費	2,083			
(2) 医業外費用	539,799			
(うち支払利息)	6,843	0.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	46,700			
損益				
経常損益	-64,102			
純損益	-64,102			
累積欠損金	488,066			
経常収支比率	97.4		101.9	100.3
医業収支比率	84.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	85.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,486,175
1 固定資産	4,307,724
(1) 有形固定資産	4,272,472
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	35,252
2 流動資産	1,178,451
(1) 現金及び預金	582,653
(2) 未収金及び未収収益	579,362
(3) 貸倒引当金()	244
(4) 貯蔵品	16,680
3 繰延資産	-
負債合計	5,162,911
1 固定負債	2,893,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,960,090
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	933,561
(7) リース債務	-
2 流動負債	755,246
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,080
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	314,222
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,514,014
(1) 長期前受金	4,930,467
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,416,453
資本合計	323,264
1 資本金	1,101,687
2 剰余金	-778,423
(1) 資本金剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-901,220
負債・資本合計	5,486,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	301,150	307,876
資本勘定繰入	57,704	160,908
計	358,854	468,784

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	美祢市				
病院名	美東病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,840 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	78.3	80.8	78.7
療養	40	80.2	82.8	78.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	79.1	81.6	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		23.5	21.6	22.5

設立団体の状況		
人口(人)	23,247	
決算規模(千円)	19,447,055	
標準財政規模(千円)	9,829,627	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	28.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.4
修正医業収益(千円)	974,529

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,549,784			
1 経常収益	1,534,983			
(1) 医業収益	1,051,417			
入院収益	742,888			
外来収益	184,816			
診療収入計	927,704			
その他医業収益	123,713			
(うち他会計負担金)	76,888			
(2) 医業外収益	483,566			
(うち国・都道府県補助金)	120,634			
(うち他会計補助・負担金)	287,140			
(うち長期前受金戻入)	71,807			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,801			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,426,396			
2 経常費用	1,411,595			
(1) 医業費用	1,327,539			
職員給与費	755,065	71.8	62.1	67.4
材料費	112,412	10.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	44,511	4.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,901	6.5	11.4	8.8
減価償却費	104,346	9.9	9.5	10.7
経費	353,473	33.6	22.7	29.2
(うち委託料)	174,154	16.6	12.6	13.9
研究研修費	2,063			
資産減耗費	180			
(2) 医業外費用	84,056			
(うち支払利息)	22,980	2.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	14,801			
損益				
経常損益	123,388			
純損益	123,388			
累積欠損金	413,154			
経常収支比率	108.7		101.9	100.3
医業収支比率	79.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	34.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,486,175
1 固定資産	4,307,724
(1) 有形固定資産	4,272,472
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	35,252
2 流動資産	1,178,451
(1) 現金及び預金	582,653
(2) 未収金及び未収収益	579,362
(3) 貸倒引当金()	244
(4) 貯蔵品	16,680
3 繰延資産	-
負債合計	5,162,911
1 固定負債	2,893,651
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,960,090
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	933,561
(7) リース債務	-
2 流動負債	755,246
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,080
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	314,222
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,514,014
(1) 長期前受金	4,930,467
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,416,453
資本合計	323,264
1 資本金	1,101,687
2 剰余金	-778,423
(1) 資本金剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-901,220
負債・資本合計	5,486,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,985	364,028
資本勘定繰入	103,983	158,699
計	444,968	522,727

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	周南市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,935 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	150	72.0	83.8	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	72.0	83.8	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	17.8	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	137,540	
決算規模(千円)	80,975,609	
標準財政規模(千円)	36,938,822	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	87.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	2,329,769

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,913,725			
1 経常収益	2,883,508			
(1) 医業収益	2,392,473			
入院収益	1,501,075			
外来収益	764,695			
診療収入計	2,265,770			
その他医業収益	126,703			
(うち他会計負担金)	62,704			
(2) 医業外収益	491,035			
(うち国・都道府県補助金)	354,477			
(うち他会計補助・負担金)	132,199			
(うち長期前受金戻入)	1,223			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,217			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,886,358			
2 経常費用	2,855,694			
(1) 医業費用	2,796,669			
職員給与費	16,278	0.7	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	190,126	7.9	9.5	10.7
経費	2,584,352	108.0	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	5,913	-	-	-
(2) 医業外費用	59,025	-	-	-
(うち支払利息)	51,169	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	30,664	-	-	-
損益				
経常損益	27,814			
純損益	27,367			
累積欠損金	2,169,920			
経常収支比率	101.0		101.9	100.3
医業収支比率	85.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	94.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,451,446
1 固定資産	4,091,310
(1) 有形固定資産	4,003,834
(2) 無形固定資産	1,600
(3) 投資その他の資産	85,876
2 流動資産	1,360,136
(1) 現金及び預金	740,407
(2) 未収金及び未収収益	606,749
(3) 貸倒引当金()	2,020
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,798,252
1 固定負債	2,354,127
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,354,127
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	402,510
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	328,774
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,584
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,152
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	41,615
(1) 長期前受金	53,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,032
資本合計	2,653,194
1 資本金	4,797,948
2 剰余金	-2,144,754
(1) 資本金剰余金	25,166
(2) 利益剰余金	-2,169,920
負債・資本合計	5,451,446
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,903	194,903
資本勘定繰入	256,920	256,920
計	451,823	451,823

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名		山陽小野田市			
病院名		山陽小野田市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,362 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	215	76.5	80.4	83.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	76.5	80.4	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	14.8	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	60,326	
決算規模(千円)	35,510,953	
標準財政規模(千円)	18,300,829	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	58.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	3,649,524

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,410,500			
1 経常収益	4,335,252			
(1) 医業収益	3,774,992			
入院収益	2,407,443			
外来収益	990,304			
診療収入計	3,397,747			
その他医業収益	377,245			
(うち他会計負担金)	125,468			
(2) 医業外収益	560,260			
(うち国・都道府県補助金)	267,776			
(うち他会計補助・負担金)	159,640			
(うち長期前受金戻入)	99,910			
(うち資本費繰入収益)	19,324			
(3) 特別利益	75,248			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,451,967			
2 経常費用	4,376,201			
(1) 医業費用	4,176,126			
職員給与費	2,195,681	58.2	62.1	66.1
材料費	775,133	20.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	447,808	11.9	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	326,802	8.7	11.4	9.3
減価償却費	420,612	11.1	9.5	10.2
経費	777,762	20.6	22.7	28.2
(うち委託料)	515,110	13.6	12.6	13.6
研究研修費	3,744			
資産減耗費	3,194			
(2) 医業外費用	200,075			
(うち支払利息)	49,541	1.3	1.3	1.6
(3) 特別損失	75,766			
損益				
経常損益	-40,949			
純損益	-41,467			
累積欠損金	3,297,390			
経常収支比率	99.1		101.9	99.9
医業収支比率	90.4		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	92.5		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,484,874
1 固定資産	4,593,011
(1) 有形固定資産	4,408,787
(2) 無形固定資産	878
(3) 投資その他の資産	183,346
2 流動資産	891,863
(1) 現金及び預金	139,067
(2) 未収金及び未収収益	732,096
(3) 貸倒引当金()	23,985
(4) 貯蔵品	44,685
3 繰延資産	-
負債合計	5,883,547
1 固定負債	4,921,893
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,670,328
(2) その他の企業債	144,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,106,765
(7) リース債務	-
2 流動負債	711,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	229,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	66,000
(5) 引当金	136,073
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	257,765
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	250,374
(1) 長期前受金	1,184,304
(2) 長期前受金収益化累計額()	933,930
資本合計	-398,673
1 資本金	1,772,487
2 剰余金	-2,171,160
(1) 資本剰余金	1,126,230
(2) 利益剰余金	-3,297,390
負債・資本合計	5,484,874
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	398,673
資本不足額(繰延収益控除後)()	148,299
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,108	285,108
資本勘定繰入	98,927	118,251
計	384,035	403,359

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	周防大島町				
病院名	周防大島町立東和病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,186 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	56.6	71.1	80.4
療養	54	64.0	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	58.2	71.1	80.4
平均在院日数(一般病床のみ)		40.1	56.7	53.0

設立団体の状況		
人口(人)	14,798	
決算規模(千円)	15,967,784	
標準財政規模(千円)	8,926,466	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	43.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,688,040			
1 経常収益	2,638,310			
(1) 医業収益	916,848			
入院収益	492,415			
外来収益	291,710			
診療収入計	784,125			
その他医業収益	132,723			
(うち他会計負担金)	84,727			
(2) 医業外収益	1,721,462			
(うち国・都道府県補助金)	277,906			
(うち他会計補助・負担金)	742,543			
(うち長期前受金戻入)	24,900			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,730			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,828,830			
2 経常費用	2,786,114			
(1) 医業費用	1,519,312			
職員給与費	863,383	94.2	62.1	78.9
材料費	229,982	25.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	134,776	14.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,529	8.5	11.4	6.0
減価償却費	162,264	17.7	9.5	11.7
経費	261,079	28.5	22.7	31.2
(うち委託料)	92,505	10.1	12.6	14.3
研究研修費	846			
資産減耗費	1,758			
(2) 医業外費用	1,266,802			
(うち支払利息)	56,737	6.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	42,716			
損益				
経常損益	-147,804			
純損益	-140,790			
累積欠損金	2,589,509			
経常収支比率	94.7		101.9	100.3
医業収支比率	60.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	90.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	30.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	65.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,002,819
1 固定資産	12,891,916
(1) 有形固定資産	9,852,668
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	3,038,613
2 流動資産	1,110,903
(1) 現金及び預金	447,970
(2) 未収金及び未収収益	640,547
(3) 貸倒引当金()	6,934
(4) 貯蔵品	25,780
3 繰延資産	-
負債合計	10,753,935
1 固定負債	7,906,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,375,169
(2) その他の企業債	693,551
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,837,424
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,235,640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	743,681
(2) その他の企業債	77,641
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	189,041
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	201,414
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,612,151
(1) 長期前受金	2,414,292
(2) 長期前受金収益化累計額()	802,141
資本合計	3,248,884
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,333,130
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,424,754
負債・資本合計	14,002,819
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.8
修正医業収益(千円)	832,121

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,078,136	827,270
資本勘定繰入	208,919	-
計	1,287,055	827,270

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	74,607
地財法上の資金不足比率(%)	2.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山口県	
市町村・組合名	周防大島町				
病院名	周防大島町立大島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,109 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	39	76.6	80.3	79.1
療養	60	77.4	69.8	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	77.1	73.9	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.6	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	14,798	
決算規模(千円)	15,967,784	
標準財政規模(千円)	8,926,466	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	43.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,261,136			
1 経常収益	2,219,904			
(1) 医業収益	1,506,411			
入院収益	763,894			
外来収益	548,884			
診療収入計	1,312,778			
その他医業収益	193,633			
(うち他会計負担金)	143,593			
(2) 医業外収益	713,493			
(うち国・都道府県補助金)	41,133			
(うち他会計補助・負担金)	490,338			
(うち長期前受金戻入)	34,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,232			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,091,659			
2 経常費用	2,057,576			
(1) 医業費用	1,749,526			
職員給与費	924,698	61.4	62.1	78.9
材料費	349,009	23.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	253,697	16.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,095	5.3	11.4	6.0
減価償却費	121,845	8.1	9.5	11.7
経費	325,383	21.6	22.7	31.2
(うち委託料)	111,247	7.4	12.6	14.3
研究研修費	1,985			
資産減耗費	26,606			
(2) 医業外費用	308,050			
(うち支払利息)	44,077	2.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	34,083			
損益				
経常損益	162,328			
純損益	169,477			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.9		101.9	100.3
医業収支比率	86.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	42.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,002,819
1 固定資産	12,891,916
(1) 有形固定資産	9,852,668
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	3,038,613
2 流動資産	1,110,903
(1) 現金及び預金	447,970
(2) 未収金及び未収収益	640,547
(3) 貸倒引当金()	6,934
(4) 貯蔵品	25,780
3 繰延資産	-
負債合計	10,753,935
1 固定負債	7,906,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,375,169
(2) その他の企業債	693,551
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,837,424
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,235,640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	743,681
(2) その他の企業債	77,641
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	189,041
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	201,414
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,612,151
(1) 長期前受金	2,414,292
(2) 長期前受金収益化累計額()	802,141
資本合計	3,248,884
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,333,130
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,424,754
負債・資本合計	14,002,819
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	1,362,818

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	681,542	633,931
資本勘定繰入	148,926	-
計	830,468	633,931

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	74,607
地財法上の資金不足比率(%)	2.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。